

第2次 福井市都市交通戦略

人にやさしい「全域交通ネットワーク」と
にぎわいとやすらぎの「まちづくり」

概要版



令和3年3月
福井市



交通に関する課題と将来都市像

第2次福井市都市交通戦略では、「福井市都市交通戦略（H21.2）」での取組みや、北陸新幹線福井開業による人や物の移動拡大や経済効果を踏まえながら、だれもが身近な地域で安心して暮らせるまちを目指すため、市域全体のまちづくりと連携した総合的かつ戦略的な交通施策を推進します。

交通に関する課題

人口減少・高齢化への対応と自動車依存からの脱却

- まちなか地区へ人を呼び戻す
- 高齢者の免許返納支援
- 自動車依存からの脱却

北陸新幹線福井開業へ向けた公共交通の充実

- 増加する観光・ビジネス交通に対応する公共交通の利用環境整備・向上
- 並行在来線の利便性向上、地域による維持存続

地域拠点、乗継拠点の整備

- 地域拠点、乗継拠点の整備
- 交通結節点としての機能強化

「全域交通ネットワーク」の更なる充実

- 中心市街地と地域拠点間や地域毎の目指すべき公共交通サービス水準の維持・確保
- 路線バスやフィーダー交通を活用した公共交通空白地域への対応
- 環境にやさしいまちづくりへの貢献

公共交通利用環境の向上

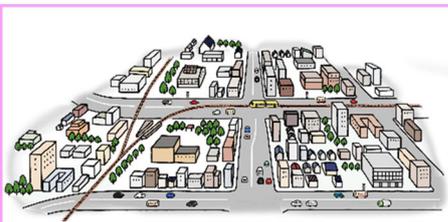
- キャッシュレス化、MaaSの導入検討
- 待合環境の改善
- バスの定時性確保
- 市中心部の適正なバス路線の配置
- 公共交通の担い手の確保

モビリティ・マネジメント

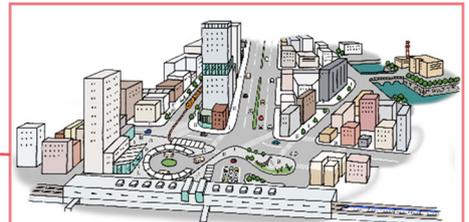
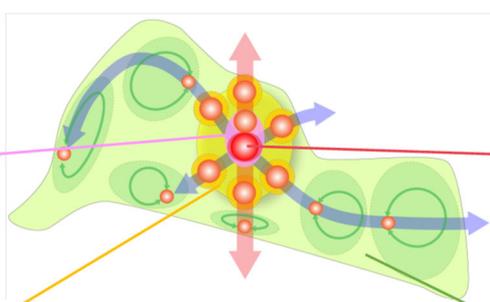
- NPOや交通事業者などの多様な主体と協働した働きかけによる利用者の意識改革

将来都市像

人にやさしい「全域交通ネットワーク」とにぎわいとやすらぎの「まちづくり」



都市機能誘導区域



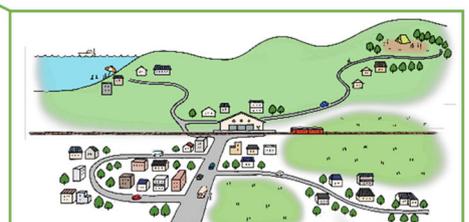
中心市街地



周辺市街地



鉄道沿線地区



農山漁村地域

都市交通の目標と目標実現のための施策方針

都市交通の目標

地域をつなぐ「全域交通ネットワーク」づくり

暮らしをつなぎ支えるモビリティ・ネットワークの構築

だれもが、目的やニーズに応じて交通手段を選択して移動することができるようにするため、日常生活の中心となる各地域拠点の特性に応じた必要な機能の集約を図るとともに、市全域のモビリティ（移動のしやすさ）を支える交通ネットワークを構築します。



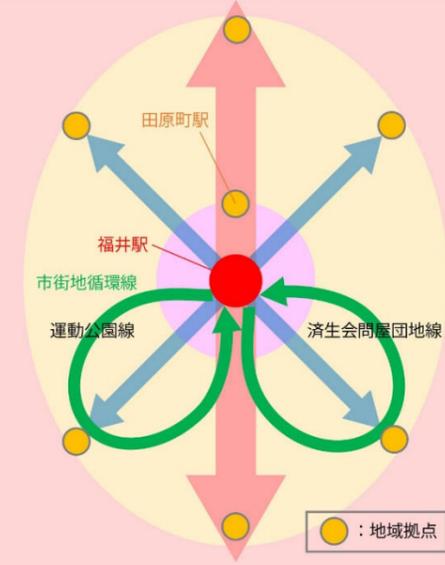
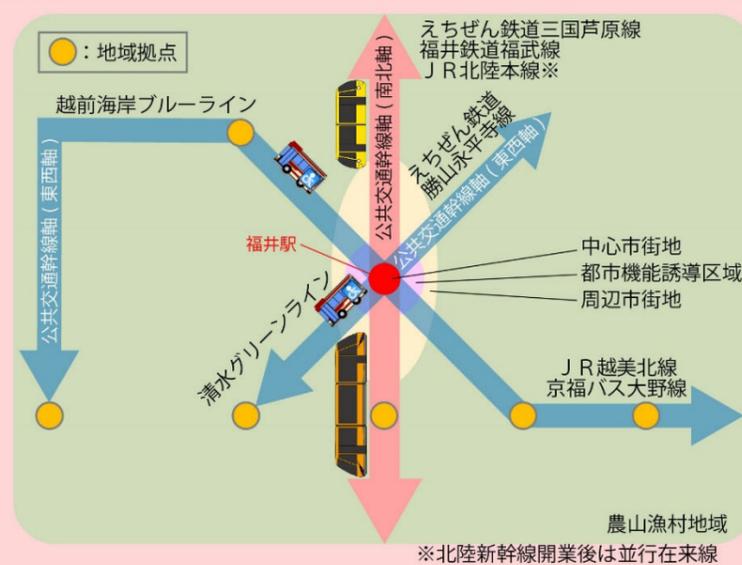
<目標実現のための施策方針>

- ①持続可能な生活の足の確保 【鉄道・バス・タクシー等】
 - ・幹線軸を構成、補完する電車・バス・タクシーやフィーダー交通の確保と利便性向上
 - ・暮らしは守りつつ持続可能なサービスへの転換
- ②公共交通利用に向けた市民の意識づくり 【モビリティ・マネジメント】
 - ・多様な交通手段を利用するきっかけづくり
 - ・利用促進による公共交通の維持
- ③地域に応じた必要な都市、生活サービス機能の集約 【拠点形成】
 - ・地域ごとに異なる特性をもつ拠点の機能を地域の状況に応じて強化
- ④自家用車の利用が困難な方への移動支援 【移動支援】
 - ・免許返納した高齢者や免許を持たない人などの生活の足を確保
- ⑤来街者が利用しやすい移動環境の確保 【観光・ビジネス】
 - ・北陸新幹線福井開業による観光・ビジネス需要に対応した使いやすい二次交通
 - ・目的地までスムーズに乗継ぎができる乗継環境
- ⑥ICT化の推進と新技術の活用 【ICT・新技術】
 - ・キャッシュレス、MaaSの導入による乗継、支払いの効率化
 - ・プローブデータ、モバイル端末データの活用による情報提供、情報収集
- ⑦まちなかを快適に回遊できる移動環境づくり 【歩行者、まちづくり】
 - ・交通とまちづくりが連携したにぎわい創出
 - ・人中心の街路空間と利用しやすい多様な交通モードによる回遊
- ⑧安全で快適に移動できる空間づくり 【自動車・自転車・歩行者】
 - ・バスの定時性確保
 - ・安全な自転車通行空間、歩行者空間
- ⑨環境負荷の低減に向けた市民の意識づくり 【環境】
 - ・公共交通、自転車、徒歩の利用促進による環境負荷低減

市全域の移動を確保する「公共交通幹線軸」と「フィーダー交通」による交通ネットワーク

公共交通幹線軸

- (広域路線:南北) 福井駅を起点に地域拠点と接続し、市域全体を移動するための骨格となる鉄道、及びバス路線である。
- (広域路線:東西) 福井駅を中心として、南北2方向、東西4方向からなる6方向の広域路線と、市街地内の移動を補完する市街地循環線により構成される。
- (市街地循環線)



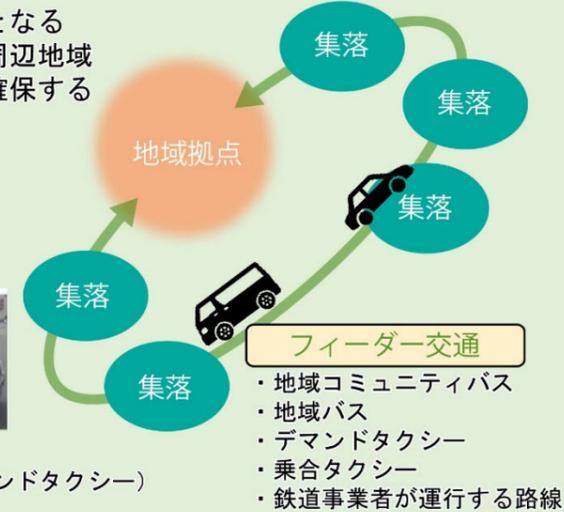
フィーダー交通

日常生活の中心となる地域拠点とその周辺地域とのアクセスを確保する交通手段。



フィーダー交通の例

(上: 地域バス、下: デマンドタクシー)



総合交通結節点 (ターミナル)

鉄道、バスをはじめとする様々な交通が接続する総合交通結節点。

安全快適な生活空間を形成する「地域拠点」と交通便利機能を備えた「乗継拠点」

地域拠点

地域住民の身近な生活空間の中心であり、日常生活を支える医療、福祉、商業、行政サービス等の施設が集積するエリア。

公共交通幹線軸による中心市街地への移動の利便性が高く、フィーダー交通が接続し、自家用車や自転車等から公共交通への乗継機能のあるエリア。

地域拠点のイメージ

地域の特性に応じて、必要となる都市機能、生活サービス機能を誘導



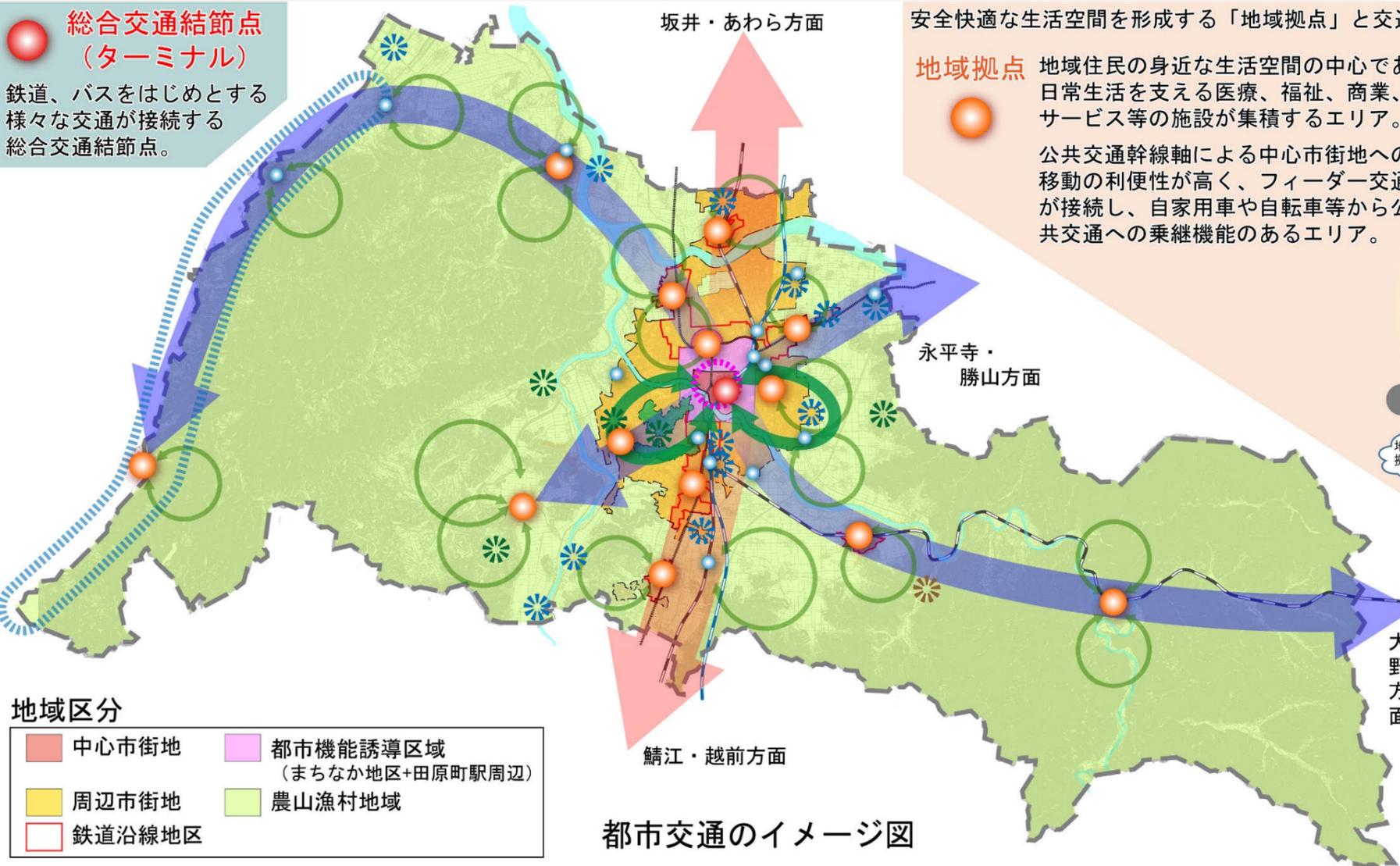
乗継拠点

主要な駅・バス停、病院、商業施設など、公共交通相互や自家用車、自転車等から公共交通への乗継に適した機能のあるポイント。

市全域を支え魅力や活力を高める多様な拠点

- にぎわい交流の拠点
- 産業を支える工業・流通の拠点
- 自然海岸と親しむレクリエーション拠点
- 緑と親しむスポーツ・レクリエーションの拠点
- 歴史・文化の拠点

※『多様な拠点』は福井市都市計画マスタープランにて設定



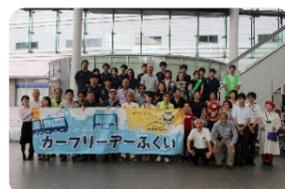
地域区分

- 中心市街地
- 都市機能誘導区域 (まちなか地区+田原町駅周辺)
- 周辺市街地
- 農山漁村地域
- 鉄道沿線地区

① 選択性のある都市交通利用環境の構築

電車、バス、タクシー、フィーダー交通、自家用車、自転車といった様々な移動手段がネットワーク化され、移動の目的に応じて、それぞれの移動手段を組み合わせることができる、利便性の高い都市交通の利用環境を構築

①-1 市域全体をカバーする地域公共交通網の形成	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○南北幹線軸（鉄道）の維持・確保のための、行政による支援、及び鉄道の安定的な運営のための利用促進 【短期～長期】 ○東西幹線軸（鉄道、バス）の追加、維持・確保のための、行政による支援、及びバスの安定的な運営のための利用促進 【短期～長期】
①-2 新しい時代を迎える地域鉄道の利便性向上	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○地域鉄道の連携による利便性向上 【短期～長期】 ○地域拠点、乗継拠点の駅での待合環境の充実 【短期～長期】
①-3 フィーダー交通の効率的配置による地域内移動手段の確保と利便性向上	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○フィーダー交通の見直し（フルデマンド化や効率的な路線の統廃合等） 【短期～長期】 ○生活の足を確保するための超小型モビリティ、自動運転車両等の研究 【短期～長期】
①-4 市中心部のバス路線網の見直し	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○すまいるバスのダイヤ・ルートを含めたバス路線網の効率化 【短期】 ○福井駅周辺でのお買い物と連動した公共交通利用促進策の検討 【短期】
①-5 公共交通を維持するための取組み	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○駅周辺でのイベント等の開催 【短期～長期】 ○高齢者等への公共交通機関の利用方法の周知による外出機会の創出 【短期～長期】
①-6 北陸新幹線福井開業に伴う交流人口（観光・ビジネス等）への対応	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○東口の観光案内所の整備と西口のまちなか案内所との連携 【短期】 ○福井駅等における地域鉄道、バス、タクシー乗場、観光案内所等へのサインの充実 【短期】
①-7 道路交通の円滑化	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○バスロケーションシステムの整備拡充 【短期～長期】 ○路線バスの遅延分析と対策 【短期～長期】
①-8 自転車利用の推進	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車活用の推進を踏まえた計画の策定 【短期】 ○まちなか、拠点等におけるシェアサイクル（レンタサイクル）の拡充 【短期～長期】



② 拠点への機能の集積とモビリティの改善による持続可能な地域の形成

それぞれの拠点の特性に応じた、日常生活に必要な機能の集約やモビリティ（移動のしやすさ）の改善により地域としての生活利便性や魅力を向上

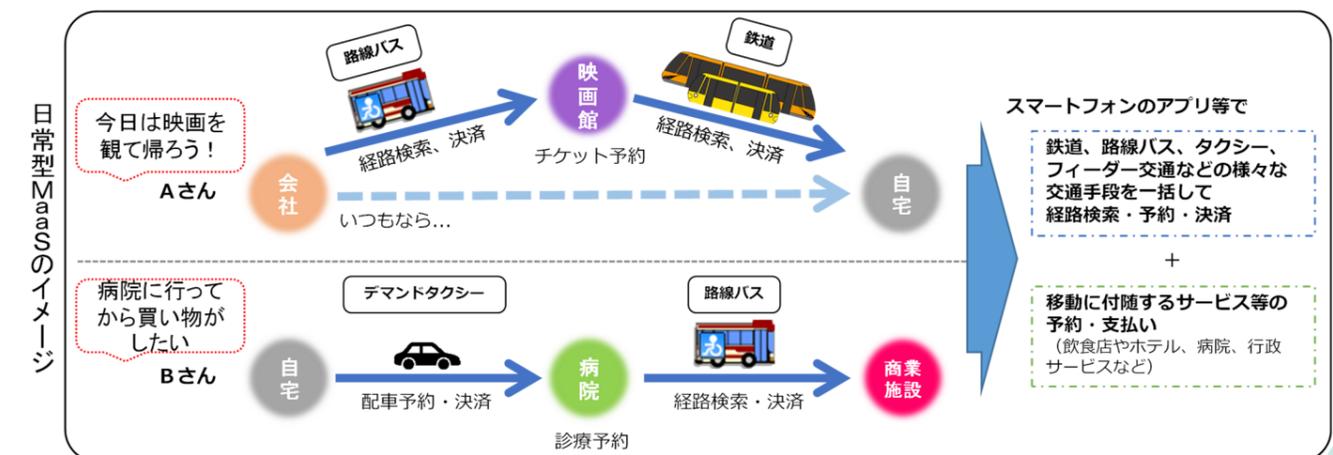
②-1 地域拠点に求められる都市機能、生活サービス機能の誘導等	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○地域拠点における地元生産者による農作物等の販売所の設置 【短期～長期】 ○地域拠点における高齢者が気軽に集える通いの場の整備（SC等でのサロン、よろず茶屋等） 【短期～長期】
②-2 地域拠点等におけるモビリティ（移動のしやすさ）の改善	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○パーク&ライド(バスライド)駐車場、サイクル&ライド(バスライド)自転車駐車場、待合環境の整備、及び支援 【短期～長期】 ○鉄道駅、拠点における基幹バス停、パーク&ライド駐車場や乗継情報等の見える化に向けた環境整備 【短期～長期】
②-3 まちなかを快適に回遊できる環境の構築	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○福井駅前電車通り北地区（A街区）第一種市街地再開発事業（広場の整備/通路/歩道状空地/住宅/駐車場） 【短期～中期】 ○案内サインの充実（サインの設置・整備、デジタルサイネージの整備等） 【短期～長期】



③ 公共交通機関のシームレス化の推進

運賃の支払いの効率化や多数の移動手段の検索・予約・決済の一括化などにより、移動のために必要な情報を必要な人に提供し、スムーズに移動できる環境づくりを推進

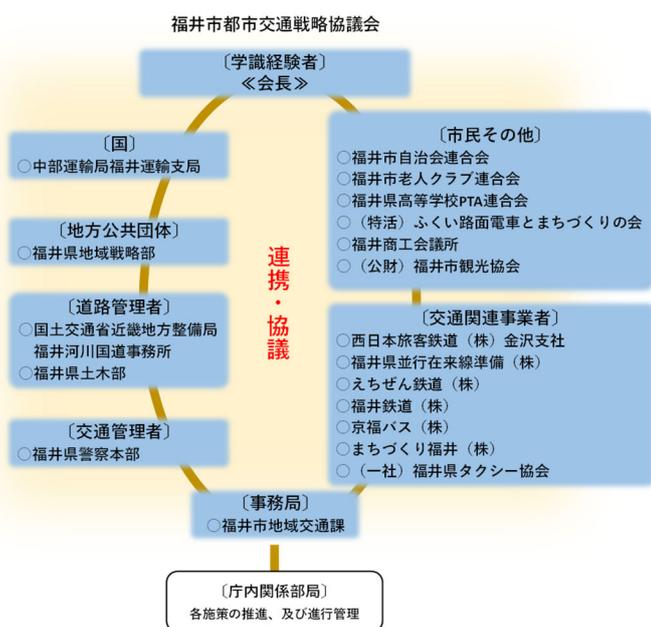
③-1 運賃のキャッシュレス決済の導入検討	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○運賃のキャッシュレス決済の導入検討 【短期～長期】
③-2 M a a S (Mobility as a Service) の導入	
主な実施施策	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活型M a a Sの導入検討 【短期】 ○ふくい嶺北連携中枢都市圏全体でのM a a Sによる交通システムの構築 【中期～長期】



戦略の推進体制

施策パッケージを構成する施策を推進するため、行政、学識経験者、交通事業者、市民等の施策の実施主体で構成される協議会によって、協力体制を構築し、着実な施策展開を図ります。

また、地域の交通サービスの具体的なあり方や活性化策等に関する協議等を行う「福井市地域生活交通活性化会議」と連携し、施策の進行管理、効果検証を実施するとともに、必要に応じて戦略の見直しに取り組みます。

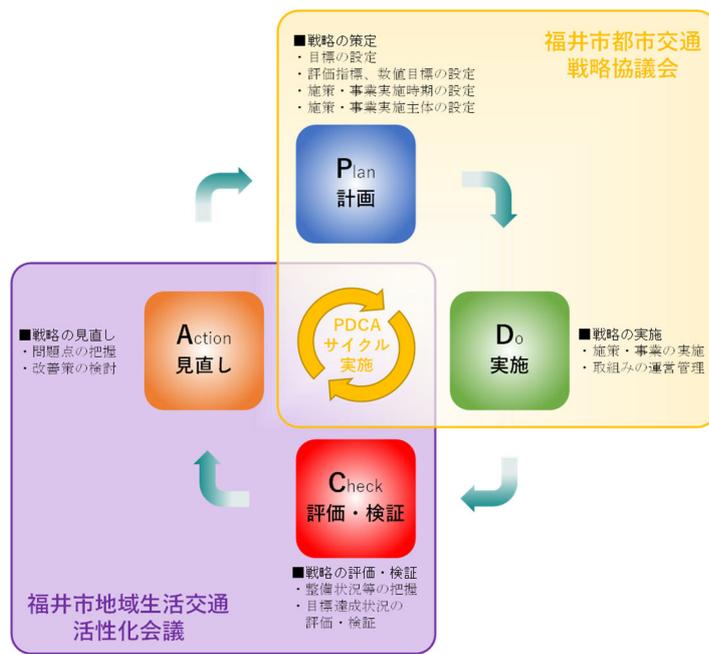


■福井市都市交通戦略協議会の構成

戦略の進行管理

第2次福井市都市交通戦略は、施策の推進や定期的な計画見直しのため、PDCAサイクルによる進行管理を行い、必要に応じて市民とのコミュニケーションを図り、目標の実現に向けて取り組みます。

PDCAサイクルの実施においては、福井市都市交通戦略協議会、及び福井市地域公共交通活性化会議で役割分担を図り取り組みます。



■戦略の進行管理

戦略の数値目標

第2次福井市都市交通戦略では、以下の項目を評価指標とする数値目標を設定する。

評価指標	基準値	目標値
通勤、通学時の利用交通手段が徒歩、自転車、公共交通である人の割合(15歳以上)	24.9%	2010年(平成22年) 25.0% 2030年(令和12年)
公共交通人口カバー率	91.6%	2020年(令和2年) 93.0% 2030年(令和12年)
交通環境への満足度	24.2%	2020年(令和2年) 35.0% 2030年(令和12年)
居住誘導区域の人口密度	43.7人/ha(市街化区域の人口密度)	2010年(平成22年) 43.7人/ha 2030年(令和12年)
都市機能誘導区域に立地する誘導施設の施設数	26施設	2016年(平成28年) 26施設 2030年(令和12年)

第2次福井市都市交通戦略(概要版)

発行：福井市 都市戦略部 地域交通課
〒910-8511 福井県福井市大手3丁目10番1号
TEL：0776-20-5138(直通) FAX：0776-20-5139
<https://www.city.fukui.lg.jp/dept/d360/koutu-s/index.html>

